

未来をひらくはたちのつどい・選挙に関するアンケート調査(結果報告)

1 調査目的 新成人の政治や選挙に対する関心やこれまでの選挙への投票参加などを聞き取るにより、新成人一人ひとりに政治や選挙の重要性を認識してもらうとともに、今後の若年層への啓発活動の参考にする。

2 調査日時 日時 令和4年1月10日(月・祝)
及び場所 【第一部終了後】午前10時50分～11時20分
等 【第二部終了後】午後2時20分～2時50分
場所 武蔵野市民文化会館(1階エントランス付近)

3 調査項目 設問1 政治や選挙への関心
設問2 今年度執行された選挙への投票参加度
設問3 投票に行かなかった理由
設問4 20歳代の投票率低下について

4 当日参加した新成人数 642名

5 回収数 91名
※前回(令和2年): 77名

6 回答結果

設問	選択肢	回答数	回答数/調査数	計	その他の内容
1 普段から政治や選挙に関心を持っていますか。	普段から関心を持っている	27	30.0%	90	
	選挙の時には関心を持っている	53	58.9%		
	あまり関心を持っていない	10	11.1%		
2 今年度行われた選挙のうち、あなたが投票に行った選挙はどれですか。	東京都議会議員選挙	69	76.7%	190	
	武蔵野市長選挙	60	66.7%		
	衆議院議員選挙	53	58.9%		
	その他の選挙	0	0.0%		
	全ての選挙に投票に行かなかった	8	8.9%		
3 投票に行かなかった選挙のある方に伺います。理由はなんですか。(該当者38名)	時間がなかったから	18	62.1%	38	<ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストが確認しやすく候補者選びが大変。 ・武蔵野市外在住のため。 ・親が行かなかったから。 ・体調を崩した。 ・忘れたから。
	選挙で政治や暮らしがよくなると思わなかったから	0	0.0%		
	適切な候補者がいなかったから	6	20.7%		
	投票所に行くのが面倒だったから	5	17.2%		
	自分が投票しなくても選挙結果に影響がないと思ったから	3	10.3%		
	その他	6	20.7%		

設問	回答
<p>4 20代の投票率の低下についてどう思いますか。若い人に投票に行ってもらうためにはどうしたらよいと思いますか。</p>	<p>意識を持たせる。</p> <p>メリットの提示。高齢者が優遇されていることを理解させる。</p> <p>知識を身につけるために情報を集める。</p> <p>教育の質を上げると、投票率が上がると思う。</p> <p>選挙・主権者教育を手厚く行うべき。</p> <p>報酬や見返りを与える。</p> <p>キャンペーン、クーポン券や商品券の発行。</p> <p>帰省が困難で投票に行けない人のためにオンライン投票を有効に活用してほしい。</p> <p>SNSやメディア活用してアピール、電子投票。</p> <p>わかりやすい資料などをネットに上げる。</p> <p>若い人が得する政治をかかげる人を増やすべき。</p> <p>投票率が上がれば若者向けの政策も増えると思う。</p> <p>若い人向けの政策がない、わかりづらい。</p> <p>もっと興味・関心を持つべき。</p> <p>政策が悪い。</p> <p>投票しないとどうなるか、危機感を高めさせる。</p> <p>罰金付きの義務投票制を導入する。</p> <p>候補者についての情報の発信をもっとする。</p> <p>選挙の重要性を強調する。</p> <p>出店を出して祭りのようにする。</p>
計	20件(回答内容重複あり)